

2017年度 一般社団法人日本社会福祉学会定時社員総会 報告

第5期総務担当理事 金子 光一（東洋大学）

一般社団法人日本社会福祉学会 2017年度定時社員総会は、第65回春季大会当日の2017年5月28日（日）の10時から、明治学院大学白金キャンパス本館3階1301教室にて開催された。議案はすべて承認され、11時15分に解散した。

I. 会長挨拶

一般社団法人日本社会福祉学会岩崎晋也会長より開会挨拶があった。

II. 定足数確認

総務担当理事から、代議員155名で定足数78名に対して、現在の代議員出席者が139名（委任代議員95名を含む）となったことから、定款第31条ならびに定款第32条に基づき、2017年度定時社員総会を開催し、岩崎晋也会長が議長となり議事を進行するとの開会宣言があった。

なお、総会終了時点での出席代議員は140名（委任代議員95名を含む）であった。

III. 議事録署名人の選出について

定款第37条第2項に基づき、議事録署名人として小林良二監事、市川一宏監事を選出した。

IV. 議事

第1号議案 （一社）日本社会福祉学会 2016年度事業報告・決算・監査報告について

議長から、本部事業、特別事業及び地域ブロック事業を含めた「2016年度事業報告及び決算・監査報告」について審議していただきたいとの趣旨説明があった。

まず2016年度の事業報告について、総務担当理事より配布資料に基づき報告があった。学術研究集会の開催、学会機関誌の刊行、研究奨励・研究業績の表彰、関連学術団体との連携、国際的な研究活動の推進の報告があった。また、学会の組織運営に関して、会員の動向、総会・理事会および運営委員会の開催、監査、選挙の実施、各種委員会の活動、各地域ブロックの活動状況について、順次報告があった。

引き続き、湯澤直美財務担当理事より、2016年度の学会本部事業、全国大会運営事業、出版事業、および各地域ブロックの財務状況を含めた決算報告について、配布資料に基づき報告があった。

その後、小林良二監事より学会業務及び経理に関わる監査報告があった。

審議の結果、一般社団法人日本社会福祉学会 2016年度事業報告及び決算・監査報告が満場一致で承認された。

第2号議案 （一社）日本社会福祉学会諸会費規程の制定および（一社）日本社会福祉学会正会員諸会費規程の廃止について

議長から、定款には「賛助会員」の会員種別が設定されているにもかかわらず、その年会費など

の詳細が未整備であったことから、理事会で検討を重ねて作成した「一般社団法人日本社会福祉学会諸会費規程」を新たに制定するとともに、現行の「一般社団法人日本社会福祉学会正会員諸会費規程」を廃止する案について審議いただきたいとの趣旨説明があった。

審議の結果、「一般社団法人日本社会福祉学会諸会費規程」の制定および「一般社団法人日本社会福祉学会正会員諸会費規程」の廃止について、満場一致で承認された。

第3号議案 (一社) 日本社会福祉学会 2017年度事業計画及び当初予算について

議長からの趣旨説明に続いて、総務担当理事より2017年度事業計画の説明があり、その内容に基づいて湯澤直美財務担当理事より当初予算の説明があった。2016年度の事業を踏まえ、2017年度もそれに倣った事業計画および予算となっているが、新設の委員会経費のための予算計上や実績に応じて多少の修正を行ったとの説明があった。

審議の結果、2017年度事業計画及び当初予算が満場一致で承認された。

第4号議案 理事の選任について

議長から、岩間伸之理事の逝去による理事の補充を行うため、一般社団法人日本社会福祉学会役員候補者選出規則に則り選出された推薦理事候補者1名の承認について、審議していただきたいとの趣旨説明があった。

審議の結果、保正友子会員の第5期理事への就任が満場一致で承認された。

なお、任期は2018年度定時社員総会終了時までである。

第5号議案 名誉会員の推挙について

議長から、2017年3月5日開催の理事会にて、定款第6条ならびに一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程に基づき、本会の発展にご貢献いただいた古川孝順会員を名誉会員として推挙することが承認されたとの趣旨説明があった。

審議の結果、満場一致で承認され、新たに就任した古川孝順名誉会員へ盛大な拍手が贈られた。

V. 報告

1. 新役員体制について

議長より、第4号議案で承認された保正友子理事の渉外(国内)担当について説明があり、新役員体制について報告があった。

2. (一社) 日本社会福祉学会学会賞事業要綱の一部改正について

総務担当理事より、一般社団法人日本社会福祉学会学会賞事業要綱の一部改正について、配布資料に基づき報告があった。

3. 大会のあり方検討委員会からの中間報告

原田正樹研究担当理事より、2016年度に実施した大会のあり方に関するアンケートの集計結果について、配布資料に基づき中間報告があった。2018年度定時社員総会で審議または報告を行い、実施可能な改善案については、2019年度より導入していく予定であるとの報告があった。

4. 学会資料のアーカイブ化推進委員会の発足について

議長より、学会資料のアーカイブ化推進委員会の発足について、その設立趣旨および活動方針について説明があった。常設委員会として活動を行う予定である。

5. 若手・女性研究者に対する支援検討委員会の発足について

議長より、若手・女性研究者に対する支援検討委員会の発足について、その意義や設立に至った経緯、活動目的について説明があった。保正友子理事を担当理事とし、1年間の臨時委員会として活動を行う予定である。

議長より、新たに名誉会員となられた古川孝順会員へ花束および表彰楯の贈呈を行った後、古川孝順新名誉会員からご挨拶を頂戴し、記念写真撮影を行った。



岩崎晋也会長 古川孝順先生

以 上